

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成17年2月3日(2005.2.3)

【公開番号】特開2000-99588(P2000-99588A)

【公開日】平成12年4月7日(2000.4.7)

【出願番号】特願平10-282080

【国際特許分類第7版】

G 06 F 17/60

G 06 F 19/00

【F I】

G 06 F 15/21 Z

G 06 F 15/22 N

【手続補正書】

【提出日】平成16年3月1日(2004.3.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】作業環境管理装置、記憶媒体及び作業環境管理方法

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

データやアプリケーションプログラムの情報単位の集合を保持する作業環境を管理する作業環境管理装置において、

複数の作業環境を記憶する作業環境記憶手段と、

作業における各々の過程を示す複数の作業モデル要素を時系列的に保持する作業モデルを複数個名前で識別して記憶する作業モデル記憶手段と、

前記作業環境記憶手段に記憶された作業環境に対して作業モデル名を付与することにより特定の作業モデルを対応付ける作業モデル名付与手段と、

作業環境に付与された作業モデル名及び当該作業環境の進捗状況に関する条件と当該作業モデル名に対応した作業手順における作業モデル要素とを対応付ける対応規則を記憶する対応規則記憶手段と、

前記作業環境記憶手段に記憶された作業環境に付与された作業モデル名及び当該作業環境の進捗状況と前記対応規則とにに基づいて当該作業環境に対応付けられる作業モデル要素を特定する作業モデル要素特定手段と、

前記作業環境記憶手段に記憶された作業環境を前記作業モデル要素特定手段により特定した作業モデル要素と対応させてユーザに表示出力する作業環境表示手段と、

を備えたことを特徴とする作業環境管理装置。

【請求項2】

請求項1に記載の作業環境管理装置において、

前記作業モデル要素特定手段により特定された作業モデル要素と作業環境との対応付けを保持する対応付け保持手段を備え、

前記作業環境表示手段は前記対応付け保持手段に保持された対応付けに基づいて作業環境

を作業モデル要素と対応させて表示出力することを特徴とする作業環境管理装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の作業環境管理装置において、

前記対応付け保持手段は作業環境と作業モデル要素との対応付けの指示をユーザから受け付ける入力装置を有しており、当該入力装置により受け付けた指示に従った対応付けを保持することを特徴とする作業環境管理装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか 1 項に記載の作業環境管理装置において、

前記作業環境記憶手段に記憶された作業環境に付与された作業モデル名に基づいて処理対象とする作業環境を選択する作業環境選択手段を備えたことを特徴とする作業環境管理装置。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の作業環境管理装置において、

前記作業環境選択手段は更に前記作業環境記憶手段に記憶された作業環境に対応付けられる作業モデル要素に基づいて処理対象とする作業環境を選択することを特徴とする作業環境管理装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか 1 項に記載の作業環境管理装置において、

前記作業モデル記憶手段に記憶される作業モデル名及び作業モデル要素を編集する作業モデル編集手段を備えたことを特徴とする作業環境管理装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか 1 項に記載の作業環境管理装置において、

前記対応規則記憶手段に記憶される対応規則を編集する対応規則編集手段を備えたことを特徴とする作業環境管理装置。

【請求項 8】

請求項 1 乃至請求項 7 のいずれか 1 項に記載の作業環境管理装置において、

前記作業環境記憶手段に記憶された作業環境には当該作業環境における作業の進行に従って変化する属性情報が付与されるとともに、

前記対応規則には作業環境の進捗状況に関する条件が前記属性情報を含んで規定されており、

前記作業環境記憶手段に記憶された作業環境に付与された属性情報を読み出す作業環境属性読出手段を備え、

前記作業モデル要素特定手段は前記作業環境属性読出手段により読み出した属性情報を作業環境の進捗状況として用いて作業モデル要素を特定することを特徴とする作業環境管理装置。

【請求項 9】

請求項 1 乃至請求項 8 のいずれか 1 項に記載の作業環境管理装置において、

前記作業環境表示手段は作業環境を表示出力するに際して当該作業環境に対応付けられる作業モデル要素を模式化して表示することを特徴とする作業環境管理装置。

【請求項 10】

データやアプリケーションプログラムの情報単位の集合を保持する作業環境を管理する処理を、コンピュータに実行させるプログラムを当該コンピュータに読み取り可能に記憶した記憶媒体において、

前記プログラムは、複数の作業環境を記憶したメモリから作業環境を読み出す処理と、作業における各々の過程を示す複数の作業モデル要素を時系列的に保持する作業モデルを複数個名前で識別して記憶したメモリから作業モデル名及び作業モデル要素を読み出す処理と、

前記メモリに記憶された作業環境に対して作業モデル名を付与することにより特定の作業モデルを対応付ける処理と、

作業環境に付与された作業モデル名及び当該作業環境の進捗状況に関する条件と当該作業

モデル名に対応した作業手順における作業モデル要素とを対応付ける対応規則を記憶したメモリから対応規則を読み出す処理と、

前記メモリに記憶された作業環境に付与された作業モデル名及び当該作業環境の進捗状況と前記対応規則とに基づいて当該作業環境に対応付けられる作業モデル要素を特定する処理と、

前記メモリに記憶された作業環境を特定した作業モデル要素と対応させてユーザに表示出力する処理と、を前記コンピュータに実行させることを特徴とする記憶媒体。

【請求項 11】

データやアプリケーションプログラムの情報単位の集合を保持する作業環境を管理する作業環境管理装置における作業環境管理方法において、

作業環境管理装置の作業環境記憶手段が、複数の作業環境を記憶し、

作業環境管理装置の作業モデル記憶手段が、作業における各々の過程を示す複数の作業モデル要素を時系列的に保持する作業モデルを複数個名前で識別して記憶し、

作業環境管理装置の作業モデル名付与手段が、前記作業環境記憶手段に記憶された作業環境に対して作業モデル名を付与することにより特定の作業モデルを対応付け、

作業環境管理装置の対応規則記憶手段が、作業環境に付与された作業モデル名及び当該作業環境の進捗状況に関する条件と当該作業モデル名に対応した作業手順における作業モデル要素とを対応付ける対応規則を記憶し、

作業環境管理装置の作業モデル要素特定手段が、前記作業環境記憶手段に記憶された作業環境に付与された作業モデル名及び当該作業環境の進捗状況と前記対応規則とに基づいて当該作業環境に対応付けられる作業モデル要素を特定し、

作業環境管理装置の作業環境表示手段が、前記作業環境記憶手段に記憶された作業環境を前記作業モデル要素特定手段により特定した作業モデル要素と対応させてユーザに表示出力する、

ことを特徴とする作業環境管理方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、例えばデータベースシステムやファイルシステムのように、電子的にアクセス可能な文書等のオブジェクト（情報単位）の集合を保持する作業環境を複数管理する作業環境管理装置や記憶媒体や作業環境管理方法に関し、特に、時系列的な観点から特定される作業環境の現状をユーザに対して表示により報知する作業環境管理装置や記憶媒体や作業環境管理方法に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明は、上記した従来の事情に鑑みなされたもので、時系列的な観点から特定される作業環境の現状をユーザに対して表示により報知することにより、作業環境を再利用等する際の参考情報をユーザに与えることができる作業環境管理装置や作業環境管理方法を提供することを目的とする。

また、本発明は、このような処理を実行するためのプログラムを記憶した記憶媒体を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

例えば、本発明に係る記憶媒体では、データやアプリケーションプログラムの情報単位の集合を保持する作業環境を管理する処理をコンピュータに実行させるプログラムを当該コンピュータに読み取り可能に記憶しており、当該プログラムは、複数の作業環境を記憶したメモリから作業環境を読み出す処理と、作業における各々の過程を示す複数の作業モデル要素を時系列的に保持する作業モデルを複数個名前で識別して記憶したメモリから作業モデル名及び作業モデル要素を読み出す処理と、前記メモリに記憶された作業環境に対して作業モデル名を付与することにより特定の作業モデルを対応付ける処理と、作業環境に付与された作業モデル名及び当該作業環境の進捗状況に関する条件と当該作業モデル名に対応した作業手順における作業モデル要素とを対応付ける対応規則を記憶したメモリから対応規則を読み出す処理と、前記メモリに記憶された作業環境に付与された作業モデル名及び当該作業環境の進捗状況と前記対応規則とに基づいて当該作業環境に対応付けられる作業モデル要素を特定する処理と、前記メモリに記憶された作業環境を特定した作業モデル要素と対応させてユーザに表示出力する処理と、を前記コンピュータに実行させる。

また、本発明に係る作業環境管理方法では、データやアプリケーションプログラムの情報単位の集合を保持する作業環境を管理する作業環境管理装置において、作業環境記憶手段が複数の作業環境を記憶し、作業モデル記憶手段が作業における各々の過程を示す複数の作業モデル要素を時系列的に保持する作業モデルを複数個名前で識別して記憶し、作業モデル名付与手段が前記作業環境記憶手段に記憶された作業環境に対して作業モデル名を付与することにより特定の作業モデルを対応付け、対応規則記憶手段が作業環境に付与された作業モデル名及び当該作業環境の進捗状況に関する条件と当該作業モデル名に対応した作業手順における作業モデル要素とを対応付ける対応規則を記憶し、作業モデル要素特定手段が前記作業環境記憶手段に記憶された作業環境に付与された作業モデル名及び当該作業環境の進捗状況と前記対応規則とに基づいて当該作業環境に対応付けられる作業モデル要素を特定し、作業環境表示手段が前記作業環境記憶手段に記憶された作業環境を前記作業モデル要素特定手段により特定した作業モデル要素と対応させてユーザに表示出力する。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0102

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0102】

また、本発明に係る作業環境管理装置では、例えばユーザが作業モデル名や作業モデル要素を指定することで、作業環境に付与された作業モデル名や作業モデル要素に基づいて処理対象とする作業環境を選択することができるようにならため、例えばユーザが自分の関心のある作業環境をその進捗状況に基づいて検索等することを容易にすることができる、これにより、作業環境の有効利用を図ることができる。

また、本発明は、以上に示した各種の処理を実行するためのプログラムを記憶した記憶媒体や、作業環境管理方法として把握することもできる。